Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-BM-01
Project	**Advanced border surveillance and situational awareness** HORIZON-CL3-2026-01-BM-01
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の期待される成果の**一部またはすべて**に寄与することが期待される： ● 法的および倫理的指針を遵守しつつ、国境を越えて違法取引や密輸活動に関与する、単独または群れをなして行動する無人車両の検知、位置特定、特性解析、および必要に応じて無力化を向上させること； ● 国境における状況認識の向上。特に、国境を越えた大規模な人の移動、とりわけ不法移民の悪用、紛争、社会・経済・環境・気候上のストレスなどを背景とした移動の文脈において； ● 状況認識の向上により、基本的人権の保護と促進がより一層図られる； ● 職員や社会にリスクを負わせることなく、信頼性が高く、冗長性を備えた検知・対応能力。 スコープ： 将来、能力の更新が必要となる可能性のある課題を踏まえ、陸上および海上国境の状況把握および監視能力の向上が求められている。こうした課題には、将来、不法移民の「利用」が図られることによるものだけでなく、紛争、社会的、経済的、環境的、気候的なストレスなどによる、将来的な大規模な人々の移動も含まれる可能性がある。さらに、積載能力や航続距離が向上した無人航空機、無人水上艇、無人潜水艇の利用可能性と能力が高まっていることも挙げられる。これらは物資の輸送を容易にするだけでなく、EU の外部国境を越えた物品の密輸や人の密入国といった違法・不法活動に関連して、人の輸送も可能にする恐れがある。こうした課題は、欧州近隣地域に近い地域において特に重要な意味を持つことになるだろう。 これは、EU およびシェンゲン圏において、監視が行き届かず、管理が困難な陸上および海上の国境において、特に重要な意味を持つ可能性がある。 本テーマの下で資金提供を受ける研究は、多様な地理的・気象的条件下において、陸や海の国境付近で行われる捜索・救助・回収活動の効率と対応時間を、認識の向上を通じて改善する解決策を、さまざまなニーズを考慮に入れつつ開発すべきである。このテーマの下で資金提供を受ける研究は、革新的な国境管理ソリューションの実証試験場をめぐって、欧州地域レベルでの国境を越えた協力を促進することもできる。 本テーマの下で資金提供を受ける取り組みは、検出範囲、精度、応答時間、自動化、およびシステムの耐障害性において測定可能な改善を含め、最先端技術を明確に上回るソリューションを開発すべきである。 国境監視と状況認識の強化にあたっては、多様なニーズに対応する包括的なアプローチを採用し、とりわけ人権に配慮しつつ、基本的権利と EU の価値観をより確実に保護・促進しなければならない。また、ソリューションは、信頼性が高く冗長性のある容量を提供するとともに、職員、利用者、および国境を越えた違法行為の被害者となり得る人々の安全を確保すべきである。 EBCG 能力ロードマップでは、国境を越えた不正行為や捜索救助活動が必要な事案の検知に役立つ将来の能力が不可欠であると認識している。解決策は、地域ごとの特性や課題に対応できるよう、モジュール式かつ拡張性のあるものであるべきである。 欧州国境監視システム（EUROSUR）との互換性および統合は不可欠であり、共通情報共有環境（CISE）などの他の欧州の情報共有環境との互換性および／または活用が図られれば、さらなる強みとなるだろう。 提案書には、提案された機器および技術が、国境監視および状況把握業務におけるコスト削減

	とエネルギー効率の向上に寄与することを明示する必要がある。 このテーマの下で提出される提案は、欧州国境・沿岸警備隊（ECBG）およびその機関（Frontex）の優先課題に対応するものであることが期待される。これは、要件の定義および設計段階から開始すべきであり、EBCG 能力ロードマップとの整合性を確保することや、プロジェクト実施期間中の機関との連携も含まれる。提案書の作成段階において、フロンテックスはプロジェクト提案書の作成に関する指導を行わず、またその作成に一切関与しない。ただし、提案書では、国境警備・沿岸警備機関における将来的な技術導入を促進するため、プロジェクトの実施期間中にフロンテックスがパイロット事業や実証実験を視察する可能性があることを考慮し、その対応を想定しておく必要がある。 関連するセキュリティ実務者からの積極的な関与とタイムリーなフィードバックを確保するため、提案書には、プロジェクトに関与する実務者によって実施される、プロジェクトの中間成果の評価からなる中間成果物を盛り込むべきである。 技術成熟度レベル - 完了したプロジェクトにおいて期待される技術成熟度レベル 本プロジェクトの終了までに、各活動において TRL 6～7 の達成が見込まれている（一般付属書 B を参照）。